

じゃおクラブの歩み

年	月	出来事
1990年	4月	「活力社会プロジェクト」発足 中中年男性の地域活動について討議始まる
1991年	1月	「じゃおクラブ」(仮称) 設立世話人会議発足
	4月	呼びかけ人集会 (設立準備会発足)
		「栄リサイクルの会」空き缶回収作業に参加
	7月	「じゃおクラブ」設立総会 (全労災神奈川会館)
		会員アンケート調査実施
	9月	第1回じゃおサロン「体質と健康」井出有興氏
じゃお会報第1号発行		
10月	生活クラブ「生き活きまつり」に初参加	
	事務局ニュース (現 JAO ニュース) 第1号発行	
1992年	1月	じゃおクラブのロゴマーク決定
	5月	第1回通常総会
	7月	設立1周年記念シンポジウム「地域社会での男の生き方を考える」 基調講演：慶応義塾大学教授 井関利明氏
		会報6号 会員の自己紹介特集号
	9月	3研究会発足 ・ワーカーズ・コレクティブ ・高齢社会研究会 ・健康科学研究会
11月	「クラブ完璧」発足	
1993年	1月	新春シンポジウム「じゃおクラブの未来はあなたの好奇心から」 3研究会活動を中心に討議
	5月	高齢社会研究会「地域で期待される今後のシニア男性像」の調査で (財) シニアプラン開発機構の助成金を獲得
	7月	設立2周年記念シンポジウム「地域での真の男女の連帯を求めて」
	12月	NHK TV イブニング ネットワーク 「変わる日本型社会」で、じゃおクラブ紹介される
1994年	1月	新春シンポジウム「地域で期待される今後のシニア男性像」報告書の完成
		「じゃお会食会」の試食会 (横浜ラポール)
	5月	第3回通常総会 正会員、準会員の区別を無くし一本化 年会費の改正 (6,000円へ)
	7月	設立1周年記念シンポジウム 「環境問題の本質について一身近な環境汚染を考える」横浜国大教授 加藤龍夫氏
10月	第1回「じゃお会食会」スタート (横浜ラポール)	

じゃおクラブの歩み

年	月	出来事
1995年	1月	新春シンポジウム「21世紀への環境づくり：人間も環境の一部だ」
	3月	JAOブックレット第1号「環境問題の本質」刊行
	3月	じゃおサロン特別企画「北海道で考えるー環境といま」倉本 總氏講演
	4月	地域じゃお第1号「じゃお湘南」発足（藤沢市産業センター 28名参加）
	7月	第1回「おやしサミット IN 横浜」（青葉区公会堂で男性集団8団体が参加）
	7月	創立4周年記念シンポジウム 「もしも今、地震が起きたら！」（NHK解説委員 伊藤和明氏、他）
	9月	鶴沼海岸クリーンアップ作戦に初参加
		じゃおクラブの本「妻のピンチだ 夫の出番！」初刊行（7,000部）
1996年	1月	新春シンポジウム「むかしの親父・いまの親父・これからの親父」
	3月	森林ボランティアへの参加はじまる
	4月	「じゃお農園」開園（藤沢市永田農園内）
	5月	第1回「ふれあい・交流の広場」（港南台バース）に参加、障害者との交流
	6月	海老名中央公民館より出前講座を受託 中高年男性講座「地域と共に生きる」（毎週日曜・全5週、じゃおクラブ10名出演）
	7月	創立5周年記念シンポジウム 「地域での男の生き方を考える」基調講演：淑徳大学教授 北野 大氏
	8月	ラポール藤沢・夏祭りに初参加
	10月	「96かながわ生命のまつり」に初参加 竹とんぼ、紙飛行機づくり
	11月	じゃお湘南 高齢者会食開始
	1997年	1月
2月		地域じゃお第2号「じゃお県央」発足（海老名公民館 27名参加）
		藤沢市明治中学校の生徒10名の農業体験を支援
3月		大学生の卒業論文テーマにじゃおクラブ初登場
5月		八丈島一周50kmハイク 参加10名全員完歩
7月		創立6周年記念シンポジウム「じゃお2001年の夢を語ろう」
		「人材ガイドブック」改訂版のためアンケート実施
9月		CSS（Creative Senior-life Salon）開始
		第1回「健康サークル」
11月		「市民参加研究会」発足
12月	「土に還る木」工房（御殿場市）を見学	
	会報16号「人材ガイドブック」集約結果を報告	
1998年	1月	新春シンポジウム「いい男の時代ー真の自立を目指す男の生き方」 フリージャーナリスト 下村満子氏

じゃおクラブの歩み

年	月	出来事
1998年	2月	麻雀同好会「クラブ巳申」発足
	3月	書道文化会「達筆会」発足
	4月	第1回「おやしサミット IN 川崎」“輝くおやじは明日を拓く” (新百合ヶ丘 男性9団体 500名参加)
	4月	森林ボランティア「土に還る木」体験学習
	5月	三宅島一周 35km ハイイク (20名参加)
	5月	第9回会食会にNHK、TVKの報道陣参加
	6月	NHK教育テレビ 週刊ボランティア「お父さんの挑戦」でじゃおクラブの活動紹介
	7月	第1回フォーラム「いかだで遊ぼう 谷本川」
	8月	創立7周年記念 森林シンポジウム「土に還る木」(御殿場市)
	10月	達筆会 池袋・東京芸術劇場の作品展に出品
	11月	湘南ヨットクルージング
	12月	じゃお農園打ち上げ「第9の合唱」(湘南・県央)
1999年	1月	新春シンポジウム 4研究会・湘南・県央の活動状況報告
	2月	シンポジウム「一日社会塾」講座(公募者+じゃお会員約70名受講) 御殿場市「じゃおの森」借地契約結ぶ、整備除草
	3月	じゃおサロン(卒業執筆の学生たちと)「学生と語る中高年像—その理想と現実」
	4月	じゃおの森に植樹 闊葉樹(かつようじゅ)苗木200本
	5月	大島一周 50km ハイイク (30名参加) カラオケ倶楽部 西小山「ムーンリバー」発足
	7月	シンポジウム「地域の福祉をどう支えるか」(社会福祉研)
	8月	地域作業所 反町「わかば工芸」体験ボランティア
	8月	森づくりフォーラム・御殿場(御殿場森林研究会・じゃおクラブ共催) 「北海道を考える」(倉本 総氏)
	9月	じゃおサロン「古希だ!これからだ」(4氏発表)
	10月	達筆会 芸術劇場展示場に出品
	11月	じゃおワーコレ(出前講座事業)設立 7名、出資金35万円
	2000年	1月
3月		長野県飯島町七久保青壮年部との交流会 七久保一行10名と江の島で交流会 同好会「ザ・ゲーム」発足
4月		県央ハイイク開始

じゃおクラブの歩み

年	月	出来事
2000年	4月	じゃお湘南句会「四木会」発足
		仮想投資クラブ (JAVIC) 発足
	5月	八丈島一周 50km ハイク (27名参加)
	6月	「じゃお湘南賛歌」発表
	7月	創立9周年記念シンポジウム「おじさんたちの時代・わたしたちの時代」
	8月	第2回「森づくりフォーラム御殿場」
	9月	12チャンネルTV出演「ナビゲータ21」
		じゃおワーコレ 出前講座「サラリーマンのための地域活動入門」 (講師7名 82名受講)
		新入会員32名 会員数150名強
	10月	長野県飯島町七久保地区への訪問旅行 じゃお一行24名 現地で盛大な交流会
		設立10周年記念行事準備プロジェクト発足
		カラオケ倶楽部 関内「音(ノイズ)」発足
	11月	地域じゃお第3号「じゃお田園」発足
12月	全国ボランティアフェスティバルイベントに	
2001年	1月	新春シンポジウム「21世紀に向けての地域じゃお」
		同好会「銘酒を嗜む会」発足
	2月	長野県飯島町七久保青壮年部(9名来訪) 横須賀海上自衛艦見学 江の島で交流会
	3月	JAO 県央の歌「あすを考え 今日を築こう」CD化
	3月	ミニゴルフ「日本一の会」、「新漢詩の会」 クラシック音楽を楽しむ「じゃおパストラール」発足
	4月	じゃお田園「町田農園」発足
	5月	神津島天上山ハイク(26名参加)
	6月	ダンスの会「SON SON クラブ」発足
7月	創立10周年記念フェスティバル(60名出席) 第1部 感謝状贈呈 第2部 パネルディスカッション 「妻たちから見たじゃおクラブ」 「“じゃおクラブ”今後の10年」	
2002年	1月	「銘酒を嗜む会」沖縄の旅
	4月	地域じゃお第4号「じゃおベイサイド」発足
	6月	淡水・スケッチの会発足
じゃお町田誕生		

じゃおクラブの歩み

年	月	出来事	
2002年	6月	七久保青壮年部来訪 JAL 機体整備場見学、江の島での交流、横浜ランドマークタワー見学	
	11月	じゃお湘南ワングル発足	
2003年	7月	じゃおニュース 141号から電子化 七久保青壮年部 12名江の島でボートの試乗会 横須賀で自衛隊の潜水艦「おやしお」見学	
	9月	おやしサミット IN 神奈川 参加者 450名 川崎市生涯学習振興事業団大ホール 基調講演 解剖学者 養老 孟司先生 じゃお会食会 戸塚区上矢部地域ケアプラザ 23名の高齢者参加	
	11月	オルタ館フェスタ「こども工作遊び一大盛況」 竹とんぼ 50、万華鏡 70、紙飛行機 40、売り切れ！	
	1月	じゃおサロン 「私はじゃおでこんなに変わった！これからのじゃおでの夢は、未来は」	
2004年	4月	長野県飯島町御柱祭に参加 「じゃお湘南ニュース」100号発行 健泳会（じゃお水泳クラブ）発足 じゃおカラオケクラブ「音（ノイズ）」終了 カラオケ倶楽部横浜が再開 P-MAN（ピーマン） 第1回田園ウォーク	
	5月	第1回県央 ボウリング大会	
	6月	七久保青壮年部交流会 12名江の島民宿「重助」 海上自衛隊第二技術学校見学	
	8月	ラポール藤沢「納涼祭」ボランティア 焼きトウモロコシ 100本、焼きウインナ 60串完売、ギタークラブ出演	
	9月	じゃおサロン 「日本舞踊と邦楽の集い—日本の美・踊りところろ」 「伝統芸能わくわく座」と「全国学生長唄連盟」	
	10月	第1回丹沢湖サイクリング&バーベキュー（県央）	
	11月	オルタ館フェスタ「淡水会・四木会」、「こども工作」	
	2005年	1月	新春シンポジウム パネルディスカッション「今後のじゃおクラブの在り方について」
		2月	じゃお湘南、神奈川総合防災センターにて「地震等災害体験」
		4月	じゃお湘南発足 10周年記念パーティー 四木会が句集「四木」を刊行
		6月	第1回 田園ワインの会

じゃおクラブの歩み

年	月	出来事
2005年	8月	じゃお湘南が茅ヶ崎市役所に協力し「千の川」の水質浄化作戦を支援、EM活性液を定期的に投入
	9月	NHK ラジオ深夜便に出演
	11月	第1回 県央歴史探訪
	12月	オルタ館20周年記念、オルタ館フェスタ開催 淡水会、四木会が出品、手作り遊び
		県央が第1回じゃお地域対抗ボウリング大会
2006年	1月	新春シンポジウム「じゃおクラブの今後に期待するもの」
	2月	第1回淡水会展（アートフォーラムあざみ野）
		七久保青壮年部来訪 銀座散策、浅草仲見世、相撲稽古見物、江戸東京博物館、皇居、浅草で交流会
	7月	じゃお県央で防災研修、神奈川県／総合防災センター、海老名市／消防署
	10月	七久保青壮年部交流「秋の七久保へ」
	12月	プロジェクターを購入
2007年	1月	シンポジウム「新年を迎えて私の抱負」
		じゃおクラブの活動が全国で紹介 正月の特集記事が地方紙で「じゃお農園の」活動を掲載 神奈川新聞、埼玉新聞、西日本新聞、秋田さきがけ、岐阜新聞、山陰新聞、山形新聞、岩手新聞、上毛新聞、愛媛新聞
	3月	じゃおPCサロン発足
	4月	第1回ベイサイドサロン
	5月	第1回ベイサイド料理教室
	7月	第1回県央「男の料理教室」
	12月	シンポジウム「じゃおクラブこの1年・今後への期待」
	2008年	3月
4月		じゃおの森維持管理10周年
		じゃお湘南CSS 元ダイエー坂井球団社長の講演
5月		ホームページリニューアル
6月		JAOニュース発行200号を達成
		四木会 句会100回を達成
9月		ベイサイド「マイビール」作り体験
11月		じゃおクラブの活動紹介をパワーポイントで作成
12月	チーム・マイナス6%に参加 1人1日、1kgのCO <sup>2</sup> 削減を目指す	
2009年	3月	海老名市主催「自分探し、仲間作り」相談会に参加
		田園・淡水会展の新聞報道により769名来場

じゃおクラブの歩み

年	月	出来事
2009年	4月	淡水会に加え名水会が誕生
		じゃお農園 230 坪拡張し、総面積 700 坪
	6月	グラファーズ誕生
	8月	銘酒を嗜む会 100 回を迎える
	10月	県央果樹園が大豊作
会員数 27 名増えて 160 名に		
2010年	1月	海老名社協主催「シニアボランティア入門講座」講師（県央）
	2月	運営委員会、じゃおサロンを県央で開催
		外国人蕎麦打ち体験教室開催（県央）
	3月	県社協主催「シニアパワー向け地域活動応援フェア」に参加（県央）
	4月	じゃお湘南 15 周年記念パーティー(64 名参加)
		地域じゃお第 5 号「じゃお南多摩」の発足
		四木会 10 周年、記念句集「四木」第二集発刊
		第 1 回 南多摩 里山歴史散策
		七久保御柱祭に参加
	7月	田園料理教室 50 回記念
9月	おやこん開催幹事 オルタ館で 12 団体 70 名参加	
12月	パソコンの供与を受ける	

じゃおクラブの歩み

2011年から2018年は、運営委員会が編纂した「じゃおクラブ10大ニュース」を転載します。

年	順位	出来事
2011年	1	20周年記念行事 (シンポジウム、記念誌・CD出版、記念講演会、記念パーティー)
	2	地域じゃおホームページ更新(湘南、県央、ベイサイド)
	3	じゃおニュース誌面更新(会員だより、特別寄稿)
	4	東日本震災の援助募金に協力
	5	湘南) じゃお農園15周年記念行事、他の行事続々と10周年を迎える
	6	県央) 鈴木千春会員が長年のボランティア活動に対して海老名福祉協会から表彰される
	7	ベイサイド) じゃおサロン「芭蕉の魅力」を開催
	8	南多摩) 障がい者、高齢者、外国人への蕎麦打ち体験が定着化
	9	湘南) じゃおノーブルクラブ(略称JANC)の発足
	10	生活クラブ40周年記念祭りに参加
2012年	1	湘南) じゃお湘南 地域じゃおサロン・交流懇親会(8月)
	2	湘南) じゃおグリーンクラブ発足(3月)
	3	県央) 県央15周年記念誌発行と記念講演・パーティー開催(11月)
	4	県央) 福祉会館屋上菜園の設立ボランティア(4月)
	5	県央) ピンポンクラブ発足(5月)
	6	ベイサイド) 世界の料理の実習定着(ブラジル・タイ)
	7	ベイサイド) 横浜港湾施設見学大成功(23名)
	8	南多摩) テニスクラブ発足
	9	南多摩) 東日本大震災被災者への蕎麦打ち実施
	10	南多摩) コントラクトブリッジのじゃお湘南と交流戦の実現
2013年	1	じゃおグリーンクラブ綾瀬文化会館大ホールで初舞台(湘南)
	2	湘南新年会大雪の中大盛況(24名参加)(湘南)
	3	四木会元政忌俳句大会で2名入選(湘南)
	4	小学生対象の科学教室綾瀬で発足(全6回)(県央)
	5	特別養護老人施設の菜園で巨大かぼちゃ収穫(県央)
	6	スナック「ノイズ」でカラオケ復活(ベイサイド)
	7	離島ハイク天候大荒れで島に足止め(ベイサイド)
	8	じゃおサロン南多摩で開催(南多摩)
	9	公開蕎麦打ち会定着(南多摩)
	10	テニスクラブ発足(南多摩)
2014年	1	県央会員大幅増加。しかし、じゃお全体会員は伸び悩み懸念



じゃおクラブの歩み

年	順位	出来事
2014年	2	綾瀬市科学教室「万華鏡」から「音の理科」へ進化（好評です）
	3	海老名市のボランティアフェスタ、茅ヶ崎市民活動サポート等、地域の市民活動・催しに新たに参画し活動領域を広げる
	4	出前蕎麦打ち海老名から大和へ進出（ボランティア活動の拡大です）
	5	南多摩農園の開催と発展
	6	活動の継続—南多摩里山歴史散策第20回超える。湘南「仲間づくりかよう会」への食事提供10年継続。
	7	新企画の立上げ—南多摩マレットゴルフ、ベイサイド有名商店街探訪／落語鑑賞会
	8	湘南グリークラブ 横浜みなとみらいホールのコラスフェスティバルに出演
	9	福島応援ツアー実施
	10	県央果樹園の栗、盗難にあう。
	2015年	1
2		綾瀬科学教室6ヶ所で3年継続（県央）
3		菜園作り支援2ヶ所から3ヶ所へ、老人福祉施設へのボランティア活動増（県央）
4		東京下町散策（最後の築地市場を楽しんできました）（県央）
5		四木会15周年「合同」句集 四木第三集発刊（湘南）
6		じゃお湘南20周年記念パーティー開催（湘南）
7		田園15周年パーティー開催（田園）
8		三輪農園活動定着して収穫祭2回実施（南多摩）
9		じゃおクラブコンペを南多摩主催で再開スタートし2回実施（南多摩）
10		町田市主催の8つのボランティア行事に参画（南多摩）
2016年	1	本部） じゃおニュース 300号発行（2016年11月）
	2	湘南） じゃお湘南ニュース 250号発行（2016年11月）
	3	湘南） じゃお湘南「四木会月報」200号発行（2016年10月）
	4	県央） 新規行事でスポーツ吹き矢開始
	5	県央） 霊園開発によりみかん畑がイノシシ被害を受ける
	6	田園） イタリアン料理とワインの会12回目継続
	7	ベイサイド） 会員拡大運動の結果24名を達成
	8	ベイサイド） 福島応援ツアーが定着
	9	南多摩） 昨年始まった「じゃお南多摩ゴルフコンペ」が4回目で初めて全地域じゃおから会員が参加

じゃおクラブの歩み

年	順位	出来事
2016年	10	南多摩) 東日本大震災被災者支援のための「広域被災者交流会(東京都、町田市、その他多くの団体共催)」に昨年から参加し出店協力
2017年	1	湘南) グリークラブが、ヴィサン《人生百歳》ジョイント・コンサートで、『エフォル賞』を受賞。(午前の部出場の13団体中3団体が表彰対象。その一つとして表彰された)
	2	本部) じゃおクラブのホームページを12月に全面改訂
	3	県央) 県央創設20周年を迎える。記念の東京バス旅行を開催(4月4日)
	4	南多摩) 工作教室の取扱品目を大幅増強(竹笛9種類、テレイドスコープ追加、CDコマ製作方法改善、バルーンアートの種類増加、竹馬など)
	5	県央) みかん園で柿が大豊作
	6	ベイサイド) 「旬の材料・料理教室」や「フィリピン料理体験」を開催して料理行事を充実
	7	湘南) 老人ホーム(ラポール藤沢)の納涼祭に15年連続で出店。寄付額累計16万円余り
	7	南多摩) コントラクトブリッジの競技会の初級クラスで1位、2位となる。
	9	南多摩) 公開蕎麦打ちに33名参加。
	9	南多摩) 老人ホームへの出前カラオケに初めて会員による生バンドが出演。
	9	南多摩) 会員募集用チラシを全面改訂
2018年	1	本部) じゃお田園を解散し、隣接する2つの地域じゃお(南多摩・ベイサイド)に分割統合し、それぞれ旧田園のメンバーを加えてスタート。これに伴い「南多摩」が「多摩・田園」に名称変更。
	2	本部) 運営委員会の組織と活動の見直し。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 運営委員の定員の規約改正:「10人以上25人以内」から「原則として各地域じゃおから2人以上」に改定。</li> <li>・ 運営委員会とじゃおサロンを毎月開催から隔月開催に変更。</li> <li>・ 事務局を廃止して、運営委員による業務分担制に変更。</li> </ul>
	3	湘南) グリークラブが、第24回ヴィサン《人生百歳》ジョイント・コーラスフェスティバルにて、2年連続で『エフォル賞』を受賞。
	4	多摩・田園) ホームページの大改訂に伴い、「じゃお多摩・田園気まぐれ日記」と会員限定の「会員ページ」を増設、会員間の情報交流が深まる。
	5	湘南) 会員勧誘のチラシ作成、PR・地域活動見本市参加などの積極的な会員募集策により、今年1年で5名の新入会員を獲得。
	6	湘南・ベイサイド) 江ノ島での湘南とベイサイドの合同の「暑気払い」と「新年会」を過去最多の参加者で盛大に開催。

じゃおクラブの歩み

年	順位	出来事
2018年	7	多摩・田園 ) 従来の「出前カラオケ」から「出前歌声カフェ」と名称を変更し、カラオケでなく自前のバンド演奏による活動に切り替え好評を得る。
	8	県央) そば打ち体験ツアー(御殿場高原たくみの郷)で腕を磨く。
	9	県央) 海老名市社協「いきいきカレッジ」そば打ち体験講座で指導。
	10	ベイサイド) ワインの会を復活。
	10	県央) 綾瀬市児童館科学教室開催に協力(3 児童館で実施)

じゃおクラブの歩み

2019年から2021年は新たに月ごとの出来事を記します。

年	月	出来事
2019年	12月	ホームページを改訂。HPサークルが2018年12月より全面改訂に着手。1年間にわたる開発を終えて2019年12月に移行。
	4月	湘南) 四木会「最後の一滴吟行」を石川県金沢市で行う。(兼六園、金沢城他)
	11月	湘南) グリークラブ、みなとみらい大ホールの演奏で3年連続「エフォル賞」を受賞。
	—	湘南) じゃお農園2度の台風によりチャレンジ農園道具小屋倒壊、記念樹陽光桜が倒木。
	10月	県央) 新設の「高座クリーンセンター」を県央、多摩、田園の会員で見学。
	10月	県央) 「えびなボランティアフェスタ2019」に参加し、万華鏡43個を完売。
	11月	県央) 蕎麦打ち道場「高尾の里」(八王子)で新しい打ち方を学んだ。
	3月	ベイサイド) 2007年に開始したベイサイドサロンの50回目を達成。テーマ「日本における写真の開拓者・下岡蓮杖と横浜」を本部サロンとして開催。
	4月	ベイサイド) 第15回ベイサイド落語鑑賞会を催行。(桃月庵白酒の独演会)
	1月	多摩・田園) コントラクトブリッジの活動を終了。
	3月	多摩・田園) 里山歴史散策と施設見学の活動を終了。
	6月	多摩・田園) ランチ&カラオケを開始、カラオケとランチ飲み会を楽しむ。
	2020年	5月
5月		運営の透明性を高めるため、運営委員会議事録をホームページで公開。
8月		じゃおサロンの参加者増を目的に2020年度より参加費の無料化を実施。
3月		湘南) 2011年に発足したノーブル(高貴←後期高齢者)クラブ、サロンテーマ(アンチエイジング・終活)の勉強が一巡したこともあり一旦休会。
4月		湘南) 四木会構成員による合同句集「四木第四集」を上梓。
—		湘南) コロナ禍による影響でじゃお農園・四木会以外の活動が休止状態へ。総会はEメールを連絡手段として開催。
4月		県央) 海老名市上河内(かみごうち)に「上河内ファーム」を開園した。
11月		県央) コロナ蔓延のため4月の「てくてくウォーキング」は中止し、少し下火になった11月に「樟葉の家、田原ふるさと公園」を散策した。
—		多摩・田園) コロナ禍への対応でオンラインの活動を取り入れる。 ①グラフィーズの品評会(4月～)をオンライン化、②Zoomによる「おしゃべりの会」を開始(8月～)、③定例会をオンライン開催(2021年1月～)
10月		多摩・田園) 里山歴史散策と施設見学を合併し「仲間と街歩き」と名称変更して再開。

じゃおクラブの歩み

年	月	出来事
2021年	1月	30周年記念アンケートを実施。91名/137名の回答を得る。30周年記念と本部の役割・本部行事などについて調査。
	5月	通常総会決議に基づき新規会員入会キャンペーンを実施。2022年3月までの新規入会者会費無料及び会員を勧誘した会員に対する次年度会費減額特典。
	6月	ホームページの改良。デザイン変更と安定性・セキュリティ向上。(6月～7月)
	2月	湘南) 会員募集用の紹介ビデオを作成して、2月の地域活動見本市ではYouTubeにて配信、9月は藤沢市Fプレースホールでの無観客プレゼン実施と併せて配信。
	9月	湘南) オンライン開催の、茅ヶ崎・子供工作教室「こどたん+2022」に参加決定。
	—	湘南) 引き続きコロナ禍が継続する中で、感染下火のタイミングやオンラインの活用等で一部の活動を再開するも依然再開が厳しい活動もある。
	11月	県央) 2004年より年2回継続してきた丹沢湖BBQ・サイクリングはコロナ禍のため5月は中止し、11月に人数制限してBBQのみ実施した。
	11月	県央) 綾瀬市青少年課の要望により生徒を10名に限定して寺尾児童館で理科工作教室(光の科学と万華鏡作製)を開講した。
	11月	ベイサイド) 生活クラブ神奈川50周年オルタ館フェスタに「グラファーズの写真展示」、「こども工作」で参加。
	11月	ベイサイド) コロナ禍でベイサイドカラオケサロンは閉店した「Kenkara(ケンカラ)」から「ビックエコー関内店」に移して一年半ぶりに再開。
	—	ベイサイド) 健康マージャンは十分な感染対策の上で継続開催中。
	6月	多摩・田園) 入会キャンペーン記事をタウンニュースに掲載。
	11月	多摩・田園) 「まちカフェ!」の一環である「オトバ in まちだ」に出展。
	12月	多摩・田園) 「楽しい農園」は三輪の農地の利用終了に伴い、本町田へと移転。

2022年は、再び運営委員会が編纂した「じゃおクラブ10大ニュース」を転載します。

年	順位	出来事
2022年	1	<p>本部の運営・活動の見直しと年会費の値下げ。(4月)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本部の活動を縮小し、じゃおサロンと通常総会の特別公演を廃止。さらに、オルタ館執務スペースの廃止や総会議案書の印刷・製本の廃止などを実施した。</li> <li>本部の活動縮小による経費削減を原資として、年会費を6,000円から4,000円に値下げした。入会促進の一助になると共に、会員の負担軽減にも資する。</li> </ul>
	2	<p>新入会員「入会キャンペーン」の継続と会員募集活動の成果(通年)</p> <p>2021年度に始まった「入会キャンペーン」を継続し、少しずつ効果が始まった。湘南では、2年半ぶりに対面開催された藤沢市の地域活動見本市や、じゃお湘南のチラシ改訂の効果があつた。県央では、会員勧誘イベントの効果や会員の紹介での入会が生まれている。多摩・田園では、改訂されたホームページを見ての入会があり、合計すると2022年1月から12月の新入会員は9名であつた。(湘南:3名、県央:5名、多摩・田園:1名)</p>
	3	<p>個人情報保護方針の策定とホームページへの掲載(10月)</p> <p>改正された個人情報保護法に対応するため、地域じゃおの意見集約を経ると共に、円滑な事務手続きや、活動への影響を最小限に抑えることを考慮して「個人情報保護方針」を作成した。</p>
	4	<p>じゃおクラブ本部ホームページと本部チラシの改訂(10月)</p> <p>最近のじゃおクラブの活動に対応した内容とすると共に、よりわかりやすいホームページを目指して本部ホームページを改訂した。同時に本部チラシも改訂し、ホームページとチラシの表現の一貫性が保たれるようになった。</p>
	5	<p>コロナ禍に対応するためオンライン方式を活用(通年)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本部:総会をオンライン方式による議案説明会とWeb.アンケートによる議決権行使で運営した。</li> <li>湘南:「万華鏡」作りのオンライン配信で、ちがさき市民活動サポートセンターの「子供工作教室」に参加した。四木会、仮想投資クラブは、メールやZOOMも活用している。</li> <li>多摩・田園:オンラインを併用して定例会とグラフィアーズの定期開催を継続している。</li> </ul>
	6	<p>新型コロナウイルス感染症への万全の感染対策で再開した活動(通年)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>湘南:農園花見会・収穫祭・芋煮会・納会を復活再開した。</li> <li>ベイサイド:健康カラオケとワインの会を3年ぶりに再開した。中断した「大山街道を歩く」も最後の4回目を再開して完歩した。</li> <li>多摩・田園:蕎麦打ちと工作教室、ランチ&amp;カラオケを再開した。</li> <li>上記以外にも、各地域じゃおではコロナ禍のもとで活動を続けるための様々な工夫が行われた。</li> </ul>

じゃおクラブの歩み

年	順位	出来事
2022年	7	県央の25周年記念行事(10月) 県央は25周年を記念して25名の参加のもと、横浜景観クルージングを開催した。
	8	多摩・田園の農地移転と整備(通年) 旧農地の返却に伴い2022年1月より約半年かけて新しい農園の整備を行い、料理も再開した。活動内容に合わせて、名称も「楽しい農園」から「大人の遊び場」へと変更した。
	9	湘南の農地を移転(6月) じゃお農園で長らく使用した1号・3号畑を永田農園へ返却し、代替地として新1号畑を開設した。
	10	新しく始めた活動(10月) 県央は初の試みとして「えびなビナレッジ」のハロウィーンイベントに子供向けお面作りで参加した。
2023年	1	新規会員の初年度会費の無料化(5月総会で決定) 会則改訂により新規会員は初年度の会費が無料に。2023年の新規入会者は12人。
	2	自治体連携でのイベントやホームページ・チラシがきっかけの新規入会が増加 2023年は12名(湘南:4、県央:4、ベイサイド:2、多摩・田園:2) 2022年は9人。
	3	じゃおニュースの改善方針を決定(11月) 主な改善方針は、会員だよりの改善。自由投稿を開始すると共に五十音順の執筆人数を減らす。さらに従来の特別寄稿を会員だよりの自由投稿に含める。執筆のヒントとしてテーマを設ける。12月より告知、2024年1月より実施。
	4	コロナ禍が落ち着いた現在もオンライン会議を活用 コロナ禍を通じてオンライン会議の利点を学び、現在もオンライン会議を活用する行事・活動がある。(運営委員会、HPサークル、じゃおニュース関係者会議、JAVIC(湘南・随時)、世話人相互の打ち合わせ(湘南・随時)、グラフィーズ品評会(多摩・田園))
	5	コロナ禍が落ち着いたことによる行事・活動の再開と活発化 新型コロナウイルスへの政府方針の変更により、多くの行事・活動が対面にて再開可能となり、活発に展開された。 【本部】じゃおクラブ第32回通常総会を4年ぶりに対面方式で開催。懇親会も実施。 【湘南】対面で開催された藤沢市地域活動見本市に参加。(2/4)・(9/2)に連続して。 【湘南】永田農園の社員の皆様の参加のもと、じゃお農園の収穫祭(7/29)・芋煮会(10/28)・納会(12/23)を対面で開催。 【湘南】江の島での夏の暑気払い(8/6)を3年ぶりに対面開催。

じゃおクラブの歩み

年	順位	出来事
2023年	5	<p>【湘南】4年ぶりに明治地区ふるさと祭り(10/29)に参加。</p> <p>【県央】3年間自粛していた綾瀬市児童館科学教室を3回実施。(万華鏡作り・ペンダント作り・ヒンメリ作り)</p> <p>【県央】自治体等他団体主催のボランティアフェスタ・仲間づくり相談会に(万華鏡作り)で参加。ボランティアフェスタは4年ぶりの開催。仲間づくり相談会は2020年、2021年と自粛が続いた後、2022年は参加人数を制限していた。</p> <p>【県央】「江戸歴史探訪一その九」4年ぶりの江戸街歩き実施。(向島界限～浅草)自粛が続いた後、2022年10月に計画するも雨天中止となり、実施の機会を窺う。</p> <p>【県央】施設見学。3年にわたって見学を中止していた「国立印刷局東京工場」を訪問。来年7月から発行の新札の印刷を見学。</p> <p>【ベイサイド】「大山街道を歩く」シリーズ、柏尾道を2年越しに完歩、続いて田村道に挑む。大山街道シリーズは3回目がコロナ禍に重なり、2022年10月、感染が下火になった時期に実施。4回目を2023年10月に実施した。</p> <p>【ベイサイド】「健康マーじゃん 巳申」は参加を自粛していたメンバーが戻った。じゃおクラブの新規入会者3名が新たに参加したこともあり、延べ人数が大幅増。昨年度の1.8倍。(152人⇒269人)</p> <p>【多摩・田園】4年ぶりに暑気払いを対面で再開。(8/4)</p>
	6	<p>【湘南】じゃおグリーンクラブが『エフォル賞』を受賞 受賞は出場4年連続。神奈川県合唱連盟主催のヴィサン《人生百歳》ジョイント・コーラスフェスティバルにて。</p>
	7	<p>【ベイサイド】ベイサイド20周年記念行事(川崎工場夜景クルーズ)実施(計20名の参加)</p>
	8	<p>【ベイサイド】「健康カラオケ」の本拠地を関内から新杉田に移転 毎回約10名、60歳台～90歳台の幅広い年齢層の参加のもと、ベイサイドの定例行事として定着。</p>
	9	<p>【ベイサイド】2014年から続けてきたYWCA「ゆう亭・落語会」の鑑賞は先方都合で2023年が最後となった。</p>
	10	<p>【多摩・田園】クラシックコンサート鑑賞会が行事として定例化(合計3回)</p>